

6月議会の一般質問で主張したかった事を要約しました。実際のやり取りはQRコードを読み込んで頂き動画でご確認下さい。



Topic01 空き家対策について

◎調査の結果、市内の空家は約1100軒でした。そのなかでも特に状態の悪い「特定空家」に該当する可能性が高い物件は293軒と5年前の調査の3倍に増えました。3年間で41軒が特定空家に指定されました。

問題① 解体費用が高くて解体できない

問題② 更地にすると土地の固定資産税が最大6倍になる（住宅用地特例がなくなるため）

問題③ 空き家の有効活用が進まない

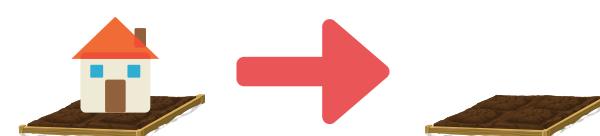
問題④ 持ち主がいない空家、火事などで全焼した場合の対応など

これらの課題を解決するために国、県、市に引き続き対策を求めていきたいと思います。

★我々がやるべき事・・・建物の権利者、所有者は死んだ後の事を相続人と話し合って欲しいです。それと、相続登記を先送りにしないで早めにやってください。相続人は権利もあれば義務もあります。適切に建物を管理して周辺に迷惑をかけないように考えていきましょう。



家を解体すると土地の固定資産税が6倍



Topic02 飯岡海岸の減災林について

◎防災林の是非について市民から反対意見が多かったのでメリット、デメリットを確認いたしました。

メリット・・・「防潮堤が粘り強くなる」「津波の減衰効果」「漂流物の確保」「避難経路の確保」「飛砂の防止」「強風の軽減」「塩害の軽減」

デメリット・・・「景観が悪化する事によって商売に悪影響、移住者の減、海岸エリアの魅力喪失」

■反対している方の意見

- ①植栽しても大きな津波には無力なのではないか
- ②奇跡の一本松の実例通り植栽は流されるのではないか
- ③海が見えなくなつて避難の判断がしづらくなるのではないか
- ④海が見えるのを目当てに海沿いに家や店を建てる人が減ってしまう
- ⑤飯岡地区のさらなる衰退を加速させてしまうのではないか



★市民の生命、財産を守るためにやっている事業なので、しっかりとニーズをとらえる必要があったと思います。10年前と市民のニーズが変わっている可能性があるので対象地域住民にアンケートを取って頂きたかったのですが「不可」という判断でした。地元の声をもう一度確認していきたいです。

Topic03 海業の推進について

◎「海業（うみぎょう）」とは、海の恵みを活かして地域を元氣にする新しい産業や取り組みのことを指します。単なる「漁業」ではなく、観光・教育・交流なども含めた幅広い活動を意味します。農業における「農業の六次産業化」に似た発想です。

✓ 目的

- ・漁業だけに頼らない地域経済の活性化
- ・子どもや観光客への海の魅力発信
- ・地域資源の持続可能な活用
- ・雇用の創出や若者の定住促進

✓ なぜ今「海業」なのか？

- ・漁業者の高齢化・減少
- ・気候変動や資源減少への対応
- ・観光需要の高まり
- ・地域の稼ぐ力を育てたいというニーズ



有効活用案

★旭市では協議会を組織して海業に向けて計画を進めています。現時点では「直売施設」「飲食施設」「グランピング施設」「朝市」「養殖」「釣り堀」「遊覧船」などの意見が出ています。これを公民連携で実施していく予定です。この場合の公民連携とは、行政は規制緩和をして、民間の出資運営による実施になります。行政が箱物を作るやり方ではなく「土地を〇〇年間貸すから、こちらの計画をやってくれる業者はいませんか」という方法です。プロポーザル方式（複数企業に提案して頂き協議会で実施企業を選ぶ）での選定になるようです。すべての情報はまだ不確定で決定事項ではありませんのでご了承ください。何にしても漁業関係者、観光業者、市民がwin win winになるような事業になるように願っています。

Topic04 屏風ヶ浦の活用について

◎東洋のドーバーと言われる屏風ヶ浦が旭市にもあるのですが、その場所があまり知られていません。観光客に道を聞かれる事が何回もありました。グーグルマップにナビを任せると上永井地区の畠の奥の方に案内をされてしまいます。地元農家は仕事中に何回も道を聞かれたり、車を移動する事になったりと迷惑をしています。解決策は・・・

- ①案内板を作る
 - ②グーグルに正確な場所を登録
- この二つを是非検討いただきたいと思います。

★この場所は、プロモーションビデオに使われたり、マクドナルドのCMに使われたり、中学校の時に愛の告白に使ったりと、素晴らしい景勝地です。これを有効活用しない手はないです。海業と共に観光地化して旭市を盛り上げる一つのツールになるよう整備をお願いしたいです。なんて事のない場所が一枚のインスタ画像によって観光地化するという現象が起きています。バズるためには情報発信をしていく事が大事です。





市民の声

『議員の権限について』



市民の方からは、本当にいろいろなご意見をいただきます。

「なんで花火大会を10月にしたんだ！」「学校をなぜ無くすんだ！」

「ワクチンは危険だから中止にして！」「消費税をゼロにしてくれ！」

——中には「駅前に温泉を掘ってほしい」や「市内にディズニーランドを作ったらどうか」なんて夢のあるご提案まで。

正直、議員は何でも決められる“市の役員”だと思われがちですが、実際はそうでもありません。イベントの日程は実行委員会や主催団体が、学校の統廃合は市民の代表や有識者で作る協議会で、ワクチン接種の方針は国や県が決めています。ましてや消費税ゼロは国会と財務省の血で血を洗う戦争のような争いを経ても決まりません。市議会の出番など1ミリもありません。しいて言えば意見書を議会から提出することくらいです。

では市議会議員は何をしているのか？

私たちの主な仕事は、市の予算や条例を審議・決定し、市政がきちんと行われているかをチェックすること。いわば、市という船が正しい航路を進んでいるか見張る「航海士」のような役割です。直接舵を切るのは市長や行政ですが、航路が怪しければ「そっちは浅瀬ですよ」と声を上げるのが議員です。

だから「それは議員の権限外です」とお答えすることもありますが、それは「聞き流す」という意味ではありません。市民の声は、私たちが提案や議論を行う上での重要な燃料。必要であれば、市や県、国にもしっかり届けます。

議員の権限は意外と限られていますが、市民の皆さんとの声には限界がありません。その声がある限り、私たちは動き続けます——たとえディズニーランドの話であっても、まずは真剣にお聞きします。お手紙で頂いたご意見もしっかりと調査、研究しております。

弱小議員の独り言

「永井は何党なんだ？」とよく聞かれます。答えはシンプル、どこにも所属していません。自由です。束縛されない代わりに、党の後ろ盾もゼロ。背中に背負っているのは夢と希望と、あと少しの借金ぐらいです。考え方的には、保守系で積極財政、効率重視、無駄は大嫌い。そしてもうひとつ・・・私は堂々と宣言します。「男女不平等主義」です。もちろん「不平等」といっても、弱い立場を叩くような話ではありません。私が目指すのは女性優遇社会です。だって、出産は男性にはできませんし、生理だってない。これを「男女は同じだから平等に」と片づけてしまうのは、どう考えても現実無視。だったら、不平等で結構。むしろ女性を優遇し、社会全体で支える仕組みを作るのが筋だと思うのです。だから私は常々こう思っています。男性は女性より働く、家事もやるのが当然、飲食の場でも「奢るなり、多めに払うなり」が当たり前。細かいことをグチグチ言うぐらいなら、黙って財布を出せ！——これが私の持論です。（どうしても「女性と同じように扱ってほしい！」という男性がいれば、その方にはちゃんと配慮しますのでご安心を）

私の考え方の源流には、尊敬する江田島平八先生の言葉があります。

「男なら幸せになろうなどと思うな！幸せになるのは女と子供だけでいい！」

この言葉を小学生の時に学び感銘を受けました。実際、男は幸せを追うよりも、誰かを幸せにしている時に一番幸せを感じる生き物なんじゃないでしょうか。少なくとも私はそう信じています。

だから私はこれからも、堂々と「男女不平等主義」を掲げていきます。

「不平等こそが真の平等！」——矛盾しているようですが、そこにこそ真理があるのです。

お互いが自分の利益を押し付けるのではなく、相手を優先しようとする社会。それこそが、私の描く理想の未来です。

この討議資料は議員個人が発行しております。ご意見、感想、苦情などがございましたらお気軽にご連絡下さい。この資料に関する市役所へのお問い合わせはご遠慮下さい。

今回は祭りやイベントが沢山あったので発行が遅れました。いろいろな団体に所属しすぎてパンク寸前です。頑張ります。

昔は祭りに参加すると痩せたのに
今は太るの なぜなぜ？

発行元
旭市議会議員
永井孝佳

〒289-2706
千葉県旭市下永井574-1
090-9332-1632
bbnagai@yahoo.ne.jp



令和7年8月 第16号

『竜王まつり』9月21日（日）

イベント情報

場所 いいおかみなと公園

40店舗出店 キッチンカー・ワークショップ

ライブパフォーマンス・生演奏・お楽しみ

同時開催 『ぼるぼろ』

10時～11時 公園清掃

11時～16時 イベント開催

大阪からスペシャルゲスト！！

